

平成25年度新規地区採択チェックリスト

農業競争力強化基盤整備事業（農業水利施設保全合理化事業）

（都道府県名：福井県）（地区名：丸岡地区）

1. 必須事項

項 目	評 価 の 内 容	判定
1. 事業の必要性が明確であること。（必要性）	・農業生産性の向上、農業総生産の維持・増大、農業生産の選択的拡大、農業構造の改善等の観点から、当該事業を必要とすること。	○
2. 技術的可能性が確実であること。	・地形、地質、水利状況等からみて、当該事業の施行が技術的に可能であること。	○
3. 事業の効率性が十分見込まれること。（効率性）	・当該事業の効用の発現が十分見込まれ、すべての効用がそのすべての費用を償うこと。	○
4. 農家（受益者）負担の可能性が十分であること。（公平性）	・当該事業の費用に係る受益農家の負担が、農家経営の状況からみて、負担能力の限度を超えることとならないこと。	○
5. 環境との調和に配慮していること。	・当該事業が環境との調和に配慮したものであること。	○
6. 事業の採択要件を満たしていること。	・事業実施要綱・要領に規定された事業内容、採択基準の要件に適合していること。	○

項目を満たしている場合は「○」とする。

項目欄の（ ）には、主として考えられる観点を記述している。

平成25年度新規地区採択チェックリスト

農業競争力強化基盤整備事業（農業水利施設保全合理化事業）

（都道府県名：福井県）（地区名：丸岡地区）

2. 優先配慮事項

【効率性・有効性】

評価項目			評価指標	単位	評価結果	評価
大項目	中項目	小項目				
効率性	事業の経済性・効率性		①事業費の経済性・効率性の確保 ②コスト縮減についての具体的配慮	—	2項目	A
有効性	食料の安定供給の確保	農業生産性の維持・向上	土地生産性及び労働生産性の維持・向上効果額（受益面積あたり）	千円/ha・年	620	A
		野菜・果樹の産地形成	野菜指定産地・果樹濃密生産団地の指定作物の計画作付面積割合（受益面積当たり）	%	—	—
	農業の持続的発展	望ましい農業構造の確立	認定農業者の割合（総農家当たり）	%	6.7	A
		農地の確保・有効利用	耕地利用率、作付面積増加率	%	101.2	A
		農業生産基盤の保全管理	施設の更新等整備の緊急性	—		B
			戦略的な保全管理に向けた更新整備計画の作成	—	該当なし	—
	農村の振興	地域経済への波及効果	他産業への経済波及効果額（受益面積当たり）	千円/ha・年	719	A
		地域用水機能の維持・増進、水資源の有効活用（快適性の向上）	地域用水効果額（受益面積当たり）	千円/ha・年	79.8	A
	多面的機能の発揮	環境機能の維持・増進	環境関連効果額（受益面積当たり）	千円/ha・年	9.6	A

【事業の実施環境等】

評価項目			評価指標	単位	評価結果	評価
大項目	中項目	小項目				
事業の実施環境等	環境への配慮	生態系	①地域や事業の特性を考慮した調査・検討 ②環境情報協議会の意見を踏まえた生態系配慮 ③地域住民の参加や地域住民との合意形成への取り組み ④維持管理、費用負担及びモニタリング体制等の調整状況	—	a a b b	A
		景観	①地域や事業の特性を考慮した調査・検討 ②環境情報協議会の意見を踏まえた景観配慮 ③地域住民の参加や地域住民との合意形成への取り組み ④維持管理、費用負担及びモニタリング体制等の調整状況	—	a a b b	A
	関係計画との連携		①都道府県や市町村の農業振興計画と本事業との整合性 ②高生産性優良農業地域対策に基づく広域農業農村整備促進計画との整合性 ③人・農地プランとの整合性	—	a c b	B
	関係機関との協議		①河川管理者との協議(予備)の状況 ②その他着工前に重要な協議(予備)の状況	—	a b	B
	地元合意		①事業実施に対する受益農家の同意状況 ②事業実施に対する関係市町村の同意状況	—	a b	B
	事業推進体制		①事業推進協議会の設立 ②事業推進協議会から着工要望の提出	—	a a	A
	維持管理体制		①予定管理者の合意 ②維持管理方法と費用負担に関する予定管理者との合意	—	a b	B
	営農支援体制		営農推進組織等(営農支援体制)の設立状況	—	設置 予定	B
	緊急性		国営事業等関連する他の公共事業との関係で緊急性が高い	—	該当 あり	A

費用対効果分析に関する説明資料

事業名	農業水利施設保全合理化事業 (農業水利施設等整備事業)	地区名	まるおか 丸岡地区
-----	--------------------------------	-----	--------------

1. 総費用総便益比の算定

(単位：千円)

区分	算定式	数値	備考
総費用（現在価値化）	①＝②＋③	3,217,559	
当該事業による費用	②	2,088,319	
その他費用	③	1,129,240	関連事業費＋資産価額＋再整備費
評価期間	④	47 年	当該事業の工事期間＋40年
総便益額（現在価値化）	⑤	3,659,663	
総費用総便益比	⑥＝⑤÷①	1.13	

2. 年効果額の総括

(単位：千円)

効果項目	年効果額	効果の要因
作物生産効果	102,544	用水施設の整備を実施した場合と実施しなかった場合での農産物生産量が増減する効果
営農経費節減効果	47,888	用水施設の整備及び関連事業を実施した場合と実施しなかった場合での営農経費が増減する効果
維持管理費節減効果	△5,979	用水施設の整備を実施した場合と実施しなかった場合での維持管理費が増減する効果
地域用水効果（流雪用水）	18,476	用水施設の整備を実施した場合と実施しなかった場合で通水が継続されることで消流雪機能が継続して発揮されることにより除雪経費が増減する効果
地域用水効果（防火用水）	95	関連事業にて防火用水機能を有する土砂貯め施設を整備することで防火施設設置費用等が節減される効果
景観・環境保全効果	2,243	関連事業にて親水施設の整備により、水辺環境が保全、創造される効果
安全性向上効果	15,076	用水施設の整備を実施した場合に事故発生が軽減される効果
計	180,343	

出典：丸岡地区土地改良事業計画概要書（福井県農村振興課作成）

丸岡地区の事業の効用に関する説明資料

1. 地区の概要

- (1) 地 域 : 福井県坂井市
- (2) 受 益 面 積 : 232.7ha
- (3) 事 業 目 的 : 用水改良 232.7ha
- (4) 主 要 工 事 計 画 : 管 水 路 工 28.0km (改修)
(幹線) 2.2km
(末端) 25.8km
分 水 工 8箇所 (改修)
水管理施設 一式 (新設)
- (5) 県 営 事 業 費 : 2,460百万円
- (6) 工 期 : 平成25年度～平成31年度

2. 総費用総便益比の算定

(1) 総費用総便益比の総括

(単位：千円)

区 分	算定式	数 値
総費用（現在価値化）	①＝②＋③	3, 217, 559
当該事業による整備費用	②	2, 088, 319
その他費用（関連事業費＋資産価額＋再整備費）	③	1, 129, 240
評価期間（当該事業の工事期間＋40年）	④	47年
総便益額（現在価値化）	⑤	3, 659, 663
総費用総便益比	⑥＝⑤÷①	1. 13

(2) 総費用の総括

①新設整備

費用区分		事業着工時点の 資産価額 ①	当該事業費 ②	関連事業費 ③	評価期間におけ る再整備費 ④	評価期間終了時 点の資産価額 ⑤	総費用 ①+②+③+④-⑤
事業区分							
国営	10 国営水管理(器 機)	0	0	2,134	3,450	223	5,361
国営	11 国営水管理(建 物)	0	0	3,858	0	15	3,843
県営	12 県営水管理(器 機)	0	66,836	0	109,429	13,826	162,439
小 計		0	66,836	5,992	112,879	14,064	171,643

②更新整備

費用区分		事業着工時点の 資産価額 ①	当該事業費 ②	関連事業費 ③	評価期間におけ る再整備費 ④	評価期間終了時 点の資産価額 ⑤	総費用 ①+②+③+④-⑤
事業区分							
国営	1-1-1 右岸幹線用水路	0	0	0	0	0	0
県営	1-2-1 九頭竜川地区用水路	0	0	0	0	0	0
県営	1-3-1 第二九頭竜川地区用水路	0	0	0	0	0	0
国営	1-1-2 国営(管路・調圧)	710,228	0	130,692	151,985	122,150	870,755
国営	1-2-2 国営(河・道横断)	31,166	0	19,383	0	1,117	49,432
国営	1-3-2 国営(せせらぎ)	5,458	0	1,101	1,813	594	7,778
団体営	3-1-1 丸岡西部用水路	—	—	—	—	—	—
団体営	3-2-1 北横地用水路	—	—	—	—	—	—
県営	3-3-1 舟寄用水路	—	—	—	—	—	—
県営	3-4-2 丸岡幹線	0	735,564	0	176,220	79,752	832,032
県営	5-0-2 丸岡用水路	—	1,285,919	—	—	—	1,285,919
							0
小 計		746,852	2,021,483	151,176	330,018	203,613	3,045,916
合 計		746,852	2,088,319	157,168	442,897	217,677	3,217,559

(3) 年総効果額の総括

(単位：千円)

効果項目	区 分	年総効果 (便益)額	効 果 の 要 因
食料の安定供給の確保に関する効果			
作 物 生 産 効 果		102,544	用水施設の整備を実施した場合と実施しなかった場合での農産物生産量が増減する効果
営 農 経 費 節 減 効 果		47,888	用水施設の整備及び関連事業を実施した場合と実施しなかった場合での営農経費が増減する効果
維 持 管 理 費 節 減 効 果		△5,979	用水施設の整備を実施した場合と実施しなかった場合での維持管理費が増減する効果
農業の振興に関する効果			
地域用水効果（消雪用水）		18,476	用水施設の整備を実施した場合と実施しなかった場合で通水が継続されることで消流雪機能が継続して発揮されることにより除雪経費が増減する効果
地域用水効果（防火用水）		95	関連事業にて防火用水機能を有する土砂貯め施設を整備することで防火施設設置費用等が節減される効果
多面的機能の発揮に関する効果			
景 観 ・ 環 境 保 全 効 果		2,243	関連事業にて親水施設の整備により、水辺環境が保全、創造される効果
安 全 性 向 上 効 果		15,076	用水施設の整備を実施した場合に事故発生が軽減される効果
合 計		180,343	

(4) 総便益額算出表

評価 期間	年 度	割 引 率	経 過 年	作 物 生 産 効 果						営 農 経 費 節 減 効 果							
				更新分 に係る 効 果	新設及び機能 向上分に係る 効 果			計			更新分 に係る 効 果	新設及び機能 向上分に係る 効 果			計		
					年 効 果 額 B (千円)	年 効 果 額 C (千円)	効果 発生 割合 D (%)	年 効 果 額 E=C*D (千円)	年 効 果 額 F=B+E (千円)	同 左 割 引 後 G=F/A (千円)		年 効 果 額 B (千円)	年 効 果 額 C (千円)	効果 発生 割合 D (%)	年 効 果 額 E=C*D (千円)	年 効 果 額 F=B+E (千円)	同 左 割 引 後 G=F/A (千円)
0	H. 24	1. 0000	0														
1	H. 25	1. 0400	1	99, 275	3, 269	0	0	99, 275	95, 457	△ 7, 473	55, 361	10	5, 536	△ 1, 937	△ 1, 863		
2	H. 26	1. 0816	2	99, 275	3, 269	14	467	99, 742	92, 217	△ 7, 473	55, 361	29	15, 944	8, 471	7, 832		
3	H. 27	1. 1249	3	99, 275	3, 269	29	934	100, 209	89, 083	△ 7, 473	55, 361	47	25, 743	18, 270	16, 241		
4	H. 28	1. 1699	4	99, 275	3, 269	43	1, 401	100, 676	86, 055	△ 7, 473	55, 361	64	35, 486	28, 013	23, 945		
5	H. 29	1. 2167	5	99, 275	3, 269	57	1, 868	101, 143	83, 129	△ 7, 473	55, 361	84	46, 226	38, 753	31, 851		
6	H. 30	1. 2653	6	99, 275	3, 269	71	2, 335	101, 610	80, 305	△ 7, 473	55, 361	94	52, 095	44, 622	35, 266		
7	H. 31	1. 3159	7	99, 275	3, 269	86	2, 802	102, 077	77, 572	△ 7, 473	55, 361	100	55, 361	47, 888	36, 392		
8	H. 32	1. 3686	8	99, 275	3, 269	100	3, 269	102, 544	74, 926	△ 7, 473	55, 361	100	55, 361	47, 888	34, 991		
9	H. 33	1. 4233	9	99, 275	3, 269	100	3, 269	102, 544	72, 047	△ 7, 473	55, 361	100	55, 361	47, 888	33, 646		
10	H. 34	1. 4802	10	99, 275	3, 269	100	3, 269	102, 544	69, 277	△ 7, 473	55, 361	100	55, 361	47, 888	32, 352		
11	H. 35	1. 5395	11	99, 275	3, 269	100	3, 269	102, 544	66, 609	△ 7, 473	55, 361	100	55, 361	47, 888	31, 106		
12	H. 36	1. 6010	12	99, 275	3, 269	100	3, 269	102, 544	64, 050	△ 7, 473	55, 361	100	55, 361	47, 888	29, 911		
13	H. 37	1. 6651	13	99, 275	3, 269	100	3, 269	102, 544	61, 584	△ 7, 473	55, 361	100	55, 361	47, 888	28, 760		
14	H. 38	1. 7317	14	99, 275	3, 269	100	3, 269	102, 544	59, 216	△ 7, 473	55, 361	100	55, 361	47, 888	27, 654		
15	H. 39	1. 8009	15	99, 275	3, 269	100	3, 269	102, 544	56, 940	△ 7, 473	55, 361	100	55, 361	47, 888	26, 591		
16	H. 40	1. 8730	16	99, 275	3, 269	100	3, 269	102, 544	54, 749	△ 7, 473	55, 361	100	55, 361	47, 888	25, 568		
17	H. 41	1. 9479	17	99, 275	3, 269	100	3, 269	102, 544	52, 643	△ 7, 473	55, 361	100	55, 361	47, 888	24, 584		
18	H. 42	2. 0258	18	99, 275	3, 269	100	3, 269	102, 544	50, 619	△ 7, 473	55, 361	100	55, 361	47, 888	23, 639		
19	H. 43	2. 1068	19	99, 275	3, 269	100	3, 269	102, 544	48, 673	△ 7, 473	55, 361	100	55, 361	47, 888	22, 730		
20	H. 44	2. 1911	20	99, 275	3, 269	100	3, 269	102, 544	46, 800	△ 7, 473	55, 361	100	55, 361	47, 888	21, 856		
21	H. 45	2. 2788	21	99, 275	3, 269	100	3, 269	102, 544	44, 999	△ 7, 473	55, 361	100	55, 361	47, 888	21, 015		
22	H. 46	2. 3699	22	99, 275	3, 269	100	3, 269	102, 544	43, 269	△ 7, 473	55, 361	100	55, 361	47, 888	20, 207		
23	H. 47	2. 4647	23	99, 275	3, 269	100	3, 269	102, 544	41, 605	△ 7, 473	55, 361	100	55, 361	47, 888	19, 430		
24	H. 48	2. 5633	24	99, 275	3, 269	100	3, 269	102, 544	40, 005	△ 7, 473	55, 361	100	55, 361	47, 888	18, 682		
25	H. 49	2. 6658	25	99, 275	3, 269	100	3, 269	102, 544	38, 467	△ 7, 473	55, 361	100	55, 361	47, 888	17, 964		
26	H. 50	2. 7725	26	99, 275	3, 269	100	3, 269	102, 544	36, 986	△ 7, 473	55, 361	100	55, 361	47, 888	17, 272		
27	H. 51	2. 8834	27	99, 275	3, 269	100	3, 269	102, 544	35, 564	△ 7, 473	55, 361	100	55, 361	47, 888	16, 608		
28	H. 52	2. 9987	28	99, 275	3, 269	100	3, 269	102, 544	34, 196	△ 7, 473	55, 361	100	55, 361	47, 888	15, 970		
29	H. 53	3. 1187	29	99, 275	3, 269	100	3, 269	102, 544	32, 880	△ 7, 473	55, 361	100	55, 361	47, 888	15, 355		
30	H. 54	3. 2434	30	99, 275	3, 269	100	3, 269	102, 544	31, 616	△ 7, 473	55, 361	100	55, 361	47, 888	14, 765		
31	H. 55	3. 3731	31	99, 275	3, 269	100	3, 269	102, 544	30, 401	△ 7, 473	55, 361	100	55, 361	47, 888	14, 197		
32	H. 56	3. 5081	32	99, 275	3, 269	100	3, 269	102, 544	29, 231	△ 7, 473	55, 361	100	55, 361	47, 888	13, 651		
33	H. 57	3. 6484	33	99, 275	3, 269	100	3, 269	102, 544	28, 107	△ 7, 473	55, 361	100	55, 361	47, 888	13, 126		
34	H. 58	3. 7943	34	99, 275	3, 269	100	3, 269	102, 544	27, 026	△ 7, 473	55, 361	100	55, 361	47, 888	12, 621		
35	H. 59	3. 9461	35	99, 275	3, 269	100	3, 269	102, 544	25, 986	△ 7, 473	55, 361	100	55, 361	47, 888	12, 136		
36	H. 60	4. 1039	36	99, 275	3, 269	100	3, 269	102, 544	24, 987	△ 7, 473	55, 361	100	55, 361	47, 888	11, 669		
37	H. 61	4. 2681	37	99, 275	3, 269	100	3, 269	102, 544	24, 026	△ 7, 473	55, 361	100	55, 361	47, 888	11, 220		
38	H. 62	4. 4388	38	99, 275	3, 269	100	3, 269	102, 544	23, 102	△ 7, 473	55, 361	100	55, 361	47, 888	10, 789		
39	H. 63	4. 6164	39	99, 275	3, 269	100	3, 269	102, 544	22, 213	△ 7, 473	55, 361	100	55, 361	47, 888	10, 373		
40	H. 64	4. 8010	40	99, 275	3, 269	100	3, 269	102, 544	21, 359	△ 7, 473	55, 361	100	55, 361	47, 888	9, 975		
41	H. 65	4. 9931	41	99, 275	3, 269	100	3, 269	102, 544	20, 537	△ 7, 473	55, 361	100	55, 361	47, 888	9, 591		
42	H. 66	5. 1928	42	99, 275	3, 269	100	3, 269	102, 544	19, 747	△ 7, 473	55, 361	100	55, 361	47, 888	9, 222		
43	H. 67	5. 4005	43	99, 275	3, 269	100	3, 269	102, 544	18, 988	△ 7, 473	55, 361	100	55, 361	47, 888	8, 867		
44	H. 68	5. 6165	44	99, 275	3, 269	100	3, 269	102, 544	18, 258	△ 7, 473	55, 361	100	55, 361	47, 888	8, 526		
45	H. 69	5. 8412	45	99, 275	3, 269	100	3, 269	102, 544	17, 555	△ 7, 473	55, 361	100	55, 361	47, 888	8, 198		
46	H. 70	6. 0748	46	99, 275	3, 269	100	3, 269	102, 544	16, 880	△ 7, 473	55, 361	100	55, 361	47, 888	7, 883		
47	H. 71	6. 3178	47	99, 275	3, 269	100	3, 269	102, 544	16, 231	△ 7, 473	55, 361	100	55, 361	47, 888	7, 580		

評価 期間	年 度	割 引 率	経 過 年	地 域 用 水 効 果 (防 火 用 水)						景 観 ・ 環 境 保 全 効 果											
				更新分 に係る 効 果	新設及び機能 向上分に係る 効 果			計		更新分 に係る 効 果	新設及び機能 向上分に係る 効 果			計							
					年 効 果 額 B (千円)	年 効 果 額 C (千円)	効果 発生 割合 D (%)				効果額 E=C*D (千円)	年 効 果 額 F=B+E (千円)	同 左 割 引 後 G=F/A (千円)			年 効 果 額 B (千円)	年 効 果 額 C (千円)	効果 発生 割合 D (%)	効果額 E=C*D (千円)	年 効 果 額 F=B+E (千円)	同 左 割 引 後 G=F/A (千円)
0	H.24	1.0000	0																		
1	H.25	1.0400	1		95	84	80	80	77		2,243	84	1,889	1,889	1,816						
2	H.26	1.0816	2		95	89	85	85	79		2,243	89	2,007	2,007	1,856						
3	H.27	1.1249	3		95	95	90	90	80		2,243	95	2,125	2,125	1,889						
4	H.28	1.1699	4		95	100	95	95	81		2,243	100	2,243	2,243	1,917						
5	H.29	1.2167	5		95	100	95	95	78		2,243	100	2,243	2,243	1,844						
6	H.30	1.2653	6		95	100	95	95	75		2,243	100	2,243	2,243	1,773						
7	H.31	1.3159	7		95	100	95	95	72		2,243	100	2,243	2,243	1,705						
8	H.32	1.3686	8		95	100	95	95	69		2,243	100	2,243	2,243	1,639						
9	H.33	1.4233	9		95	100	95	95	67		2,243	100	2,243	2,243	1,576						
10	H.34	1.4802	10		95	100	95	95	64		2,243	100	2,243	2,243	1,515						
11	H.35	1.5395	11		95	100	95	95	62		2,243	100	2,243	2,243	1,457						
12	H.36	1.6010	12		95	100	95	95	59		2,243	100	2,243	2,243	1,401						
13	H.37	1.6651	13		95	100	95	95	57		2,243	100	2,243	2,243	1,347						
14	H.38	1.7317	14		95	100	95	95	55		2,243	100	2,243	2,243	1,295						
15	H.39	1.8009	15		95	100	95	95	53		2,243	100	2,243	2,243	1,245						
16	H.40	1.8730	16		95	100	95	95	51		2,243	100	2,243	2,243	1,198						
17	H.41	1.9479	17		95	100	95	95	49		2,243	100	2,243	2,243	1,151						
18	H.42	2.0258	18		95	100	95	95	47		2,243	100	2,243	2,243	1,107						
19	H.43	2.1068	19		95	100	95	95	45		2,243	100	2,243	2,243	1,065						
20	H.44	2.1911	20		95	100	95	95	43		2,243	100	2,243	2,243	1,024						
21	H.45	2.2788	21		95	100	95	95	42		2,243	100	2,243	2,243	984						
22	H.46	2.3699	22		95	100	95	95	40		2,243	100	2,243	2,243	946						
23	H.47	2.4647	23		95	100	95	95	39		2,243	100	2,243	2,243	910						
24	H.48	2.5633	24		95	100	95	95	37		2,243	100	2,243	2,243	875						
25	H.49	2.6658	25		95	100	95	95	36		2,243	100	2,243	2,243	841						
26	H.50	2.7725	26		95	100	95	95	34		2,243	100	2,243	2,243	809						
27	H.51	2.8834	27		95	100	95	95	33		2,243	100	2,243	2,243	778						
28	H.52	2.9987	28		95	100	95	95	32		2,243	100	2,243	2,243	748						
29	H.53	3.1187	29		95	100	95	95	30		2,243	100	2,243	2,243	719						
30	H.54	3.2434	30		95	100	95	95	29		2,243	100	2,243	2,243	692						
31	H.55	3.3731	31		95	100	95	95	28		2,243	100	2,243	2,243	665						
32	H.56	3.5081	32		95	100	95	95	27		2,243	100	2,243	2,243	639						
33	H.57	3.6484	33		95	100	95	95	26		2,243	100	2,243	2,243	615						
34	H.58	3.7943	34		95	100	95	95	25		2,243	100	2,243	2,243	591						
35	H.59	3.9461	35		95	100	95	95	24		2,243	100	2,243	2,243	568						
36	H.60	4.1039	36		95	100	95	95	23		2,243	100	2,243	2,243	547						
37	H.61	4.2681	37		95	100	95	95	22		2,243	100	2,243	2,243	526						
38	H.62	4.4388	38		95	100	95	95	21		2,243	100	2,243	2,243	505						
39	H.63	4.6164	39		95	100	95	95	21		2,243	100	2,243	2,243	486						
40	H.64	4.8010	40		95	100	95	95	20		2,243	100	2,243	2,243	467						
41	H.65	4.9931	41		95	100	95	95	19		2,243	100	2,243	2,243	449						
42	H.66	5.1928	42		95	100	95	95	18		2,243	100	2,243	2,243	432						
43	H.67	5.4005	43		95	100	95	95	18		2,243	100	2,243	2,243	415						
44	H.68	5.6165	44		95	100	95	95	17		2,243	100	2,243	2,243	399						
45	H.69	5.8412	45		95	100	95	95	16		2,243	100	2,243	2,243	384						
46	H.70	6.0748	46		95	100	95	95	16		2,243	100	2,243	2,243	369						
47	H.71	6.3178	47		95	100	95	95	15		2,243	100	2,243	2,243	355						

評 価 期 間	年 度	割 引 率	経 過 年	安 全 性 向 上 効 果												割 引 後 効 果 額 合 計 H=Σ G (千円)
				更新分 に係る 効 果		新設及び機能 向上分に係る 効 果		計		更新分 に係る 効 果		新設及び機能 向上分に係る 効 果		計		
				年 効	年 効	効果 発生	年発生	年 効	同 左	年 効	年 効	効果 発生	年発生	年 効	同 左	
				果 額 B (千円)	果 額 C (千円)	割合 D (%)	効果額 E=C*D (千円)	果 額 F=B+E (千円)	割 引 後 G=F/A (千円)	果 額 B (千円)	果 額 C (千円)	割合 D (%)	効果額 E=C*D (千円)	果 額 F=B+E (千円)	割 引 後 G=F/A (千円)	
0	H. 24	1. 0000	0													
1	H. 25	1. 0400	1		15, 076	84	12, 696	12, 696	12, 208							123, 174
2	H. 26	1. 0816	2		15, 076	89	13, 489	13, 489	12, 471							129, 339
3	H. 27	1. 1249	3		15, 076	95	14, 283	14, 283	12, 697							134, 302
4	H. 28	1. 1699	4		15, 076	100	15, 076	15, 076	12, 887							138, 031
5	H. 29	1. 2167	5		15, 076	100	15, 076	15, 076	12, 391							141, 933
6	H. 30	1. 2653	6		15, 076	100	15, 076	15, 076	11, 915							141, 488
7	H. 31	1. 3159	7		15, 076	100	15, 076	15, 076	11, 457							138, 885
8	H. 32	1. 3686	8		15, 076	100	15, 076	15, 076	11, 016							131, 772
9	H. 33	1. 4233	9		15, 076	100	15, 076	15, 076	10, 592							126, 708
10	H. 34	1. 4802	10		15, 076	100	15, 076	15, 076	10, 185							121, 836
11	H. 35	1. 5395	11		15, 076	100	15, 076	15, 076	9, 793							117, 144
12	H. 36	1. 6010	12		15, 076	100	15, 076	15, 076	9, 417							112, 643
13	H. 37	1. 6651	13		15, 076	100	15, 076	15, 076	9, 054							108, 307
14	H. 38	1. 7317	14		15, 076	100	15, 076	15, 076	8, 706							104, 142
15	H. 39	1. 8009	15		15, 076	100	15, 076	15, 076	8, 371							100, 139
16	H. 40	1. 8730	16		15, 076	100	15, 076	15, 076	8, 049							96, 287
17	H. 41	1. 9479	17		15, 076	100	15, 076	15, 076	7, 740							92, 583
18	H. 42	2. 0258	18		15, 076	100	15, 076	15, 076	7, 442							89, 023
19	H. 43	2. 1068	19		15, 076	100	15, 076	15, 076	7, 156							85, 601
20	H. 44	2. 1911	20		15, 076	100	15, 076	15, 076	6, 881							82, 307
21	H. 45	2. 2788	21		15, 076	100	15, 076	15, 076	6, 616							79, 140
22	H. 46	2. 3699	22		15, 076	100	15, 076	15, 076	6, 361							76, 096
23	H. 47	2. 4647	23		15, 076	100	15, 076	15, 076	6, 117							73, 171
24	H. 48	2. 5633	24		15, 076	100	15, 076	15, 076	5, 881							70, 355
25	H. 49	2. 6658	25		15, 076	100	15, 076	15, 076	5, 655							67, 651
26	H. 50	2. 7725	26		15, 076	100	15, 076	15, 076	5, 438							65, 046
27	H. 51	2. 8834	27		15, 076	100	15, 076	15, 076	5, 229							62, 546
28	H. 52	2. 9987	28		15, 076	100	15, 076	15, 076	5, 028							60, 141
29	H. 53	3. 1187	29		15, 076	100	15, 076	15, 076	4, 834							57, 825
30	H. 54	3. 2434	30		15, 076	100	15, 076	15, 076	4, 648							55, 603
31	H. 55	3. 3731	31		15, 076	100	15, 076	15, 076	4, 469							53, 464
32	H. 56	3. 5081	32		15, 076	100	15, 076	15, 076	4, 297							51, 408
33	H. 57	3. 6484	33		15, 076	100	15, 076	15, 076	4, 132							49, 431
34	H. 58	3. 7943	34		15, 076	100	15, 076	15, 076	3, 973							47, 529
35	H. 59	3. 9461	35		15, 076	100	15, 076	15, 076	3, 820							45, 701
36	H. 60	4. 1039	36		15, 076	100	15, 076	15, 076	3, 674							43, 945
37	H. 61	4. 2681	37		15, 076	100	15, 076	15, 076	3, 532							42, 254
38	H. 62	4. 4388	38		15, 076	100	15, 076	15, 076	3, 396							40, 628
39	H. 63	4. 6164	39		15, 076	100	15, 076	15, 076	3, 266							39, 066
40	H. 64	4. 8010	40		15, 076	100	15, 076	15, 076	3, 140							37, 564
41	H. 65	4. 9931	41		15, 076	100	15, 076	15, 076	3, 019							36, 118
42	H. 66	5. 1928	42		15, 076	100	15, 076	15, 076	2, 903							34, 729
43	H. 67	5. 4005	43		15, 076	100	15, 076	15, 076	2, 792							33, 394
44	H. 68	5. 6165	44		15, 076	100	15, 076	15, 076	2, 684							32, 109
45	H. 69	5. 8412	45		15, 076	100	15, 076	15, 076	2, 581							30, 873
46	H. 70	6. 0748	46		15, 076	100	15, 076	15, 076	2, 482							29, 687
47	H. 71	6. 3178	47		15, 076	100	15, 076	15, 076	2, 386							28, 545

3. 効果額の算定方法

(1) 作物生産効果

○効果の考え方

事業を実施した場合（事業ありせば）と実施しなかった場合（事業なかりせば）の作物生産量の比較により年効果額を算定した。

○対象作物

水稻、大麦、大豆、そば

○年効果額算定式

$$\text{年効果額} = \text{単収増加年効果額}^{\ast 1} + \text{作付増減年効果額}^{\ast 2}$$

※1 単収増加年効果額＝作付面積×（事業ありせば単収－事業なかりせば単収）×単価×
単収増加の純益率

※2 作付増減年効果額＝（事業ありせば作付面積－事業なかりせば作付面積）×単収×
単価×作付増減の純益率

〇年効果額の算定

作物名	新設・更新	作付面積			効果要因	単 収			生産増減量 ③＝ ①×② ÷100	生産物 単価 ④	増加粗 収益 ⑤＝ ③×④	純 益 率 ⑥	年効果額 ⑦＝ ⑤×⑥
		現況	計画	効果 発生 面積 ①		事業 なかりせば 単収	事業 ありせば 単収	効果算定 対象 単収 ②					
		ha	ha	ha		kg/10a	kg/10a	kg/10a	t	千円/t	千円	%	千円
水稻	新設	173.3	169.9	169.9	水管理－1	528	539	11	18.70	233	4,357	74	3,224
				△ 3.4	作付増減		539	539	△ 18.3	233	△ 4264	1	△ 43
	更新	181.8	181.8	181.8	水管理－3	226	539	313.0	569.00	233	132,577	74	98,107
					計				569.40		132,670		101,288
大麦	新設	54.7	58.1	3.4	作付増減		392	392.0	13.30	51	678	13	88
	更新	54.7	54.7	57.3	田畑輪換	341	392	51.00	29.20	51	1,489	77	1,147
					計				42.50		2,167		1,235
大豆	新設	1.1	1.2	0.1	作付増減		129	129	0.10	103	10		
	更新	1.1	1.1	1.2	田畑輪換	112	129	17	0.20	103	21	68	14
				1.2	湿润かんがい	119	129	10	0.10	103	10	68	7
					計				0.30		41		21
そば	新設	12.0	12.8	0.8	作付増減		55	55.0	0.40	294	118		－
	更新	12.0	12.0	12.6	田畑輪換	48	55	7.00	0.90	294	265		－
					計				1.30		383		
合計	新設	241.1	242.0										
	更新	249.6	249.6								135,261		102,544

(2) 営農経費節減効果

○効果の考え方

事業を実施した場合（事業ありせば）と実施しなかった場合（事業なかりせば）の労働費、機械経費、その他の生産資材費について比較し、それらの営農経費の増減により年効果額を算定した。

○対象作物

水稻、大麦、大豆、そば

○年効果額算定式

年効果額 = (事業なかりせば単位面積当り営農経費 - 事業ありせば単位面積当り営農経費)
× 効果発生面積

○年効果額の算定

算定：(用水改良：水管理作業に要する経費の増減、集積による機械経費の増減)

○年効果額の算定

作物名	ha当たり営農経費				ha当たり 経費 ⑤=(①-②) + (③-④)	効果発生面積 ⑥	年効果額 ⑦=⑤×⑥
	新設		更新				
	現況 (事業なかりせば) ①	計画 (事業ありせば) ②	事業なかりせば 営農経費 ③	事業ありせば 営農経費 ④			
	円	円	円	円	円	ha	千円
水稻(乾田化)30a	4,154,881	1,069,637	-	-	3,085,244	12.4	38,257
大麦(乾田化)30a	3,528,235	689,709	-	-	2,838,526	4.2	11,922
大豆(乾田化)30a	6,495,861	1,102,414	-	-	5,393,447	0.1	539
そば(乾田化)30a	6,170,613	1,011,925	-	-	5,158,688	0.9	4,643
水稻(乾田化)30a	-	-	3,675,908	3,718,037	△ 42,129	149.5	△ 6,298
大麦(乾田化)30a	-	-	2,960,732	2,963,042	△ 2,310	47.2	△ 109
大豆(乾田化)30a	-	-	4,453,730	4,470,446	△ 16,716	0.9	△ 15
そば(乾田化)30a	-	-	3,961,287	3,963,597	△ 2,310	10.3	△ 24
水稻(乾田化)30a	-	-	758,666	800,795	△ 42,129	23.8	△ 1,003
大麦(乾田化)30a	-	-	607,590	609,900	△ 2,310	7.5	△ 17
大豆(乾田化)30a	-	-	1,150,720	1,167,436	△ 16,716	0.2	△ 3
そば(乾田化)30a	-	-	1,071,875	1,074,185	△ 2,310	1.7	△ 4
計							47,888

(3) 維持管理費節減効果

○効果の考え方

事業を実施した場合（事業ありせば）と実施しなかった場合（事業なかりせば）を比較し、施設の維持管理費の増減をもって年効果額を算定した。

○対象施設

用水路、揚水機場、水管理施設等

○年効果額算定式

年効果額 = 事業なかりせば維持管理費 - 事業ありせば維持管理費

○年効果額の算定

事業なかりせば維持管理費 ①	事業ありせば維持管理費 ②	年効果額 ③=①-②	備 考
千円 1,449	千円 7,428	千円 △5,979	現況維持管理費 3,826千円

- ・ 事業なかりせば維持管理費（①）：施設の実績維持管理費を基に、施設の機能を失った場合において安全管理等に最低限必要な維持管理費を算定した。
 - ・ 事業ありせば維持管理費（②）：効果算定対象施設の実績維持管理費を基に算定した。

(4) 地域用水効果

○効果の考え方

事業を実施した場合（事業ありせば）と実施しなかった場合（事業なかりせば）を比較し、地域用水を利用する経費の増減により年効果額を算定した。

○対象施設

用水路

○年効果額算定式

$$\text{年効果額} = \text{事業なかりせば想定される地域用水の利用経費} - \text{事業ありせば想定される地域用水の利用経費}$$

○年効果額の算定

1) 消流雪用水効果

$$\text{年効果額} = \text{事業なかりせば年除雪経費} \times \text{事業ありせば年除雪経費}$$

区 分	事業なかりせば 年除雪経費 ①	事業ありせば 年除雪経費 ②	年効果額 ③=①-②
更新整備	千円 22,967	千円 4,491	千円 18,476

- ・事業なかりせば年除雪経費（①）：用水施設機能の喪失時における除雪に係る経費を算定した。
- ・事業ありせば年除雪経費（②）：現況における除雪に係る経費を算定した。

2) 防火用水効果

$$\text{年効果額} = (\text{事業なかりせば地域集落等の防火水槽等の設置の想定増加数} \times \text{1箇所当たりの建設費}) \times \text{還元率} \times \text{本地区分効果発生割合}$$

区 分	事業なかりせば 想定増加数 ①	1箇所当たり 建設費 ②	還元率 ③	年効果額 ④=①×②×③	本地区分 効果発生 割合⑤	本地区分 効果発生額 ⑥=④×⑤
更新整備	箇所 15	千円 13,722	0.0505	千円 4,771	0.02	千円 95

- ・事業なかりせば想定増加数（①）：現在、消防水利施設に位置付けられている施設を消防施設に代替した場合の施設数を算定した。
- ・1箇所当たり建設費（②）：近傍地区の防火水槽の建設費を基に算定した。
- ・還元率（③）：施設が有している総効果額を耐用年数期間における年効果額に換算するための係数。

(5) 景観・環境保全効果

○効果の考え方

景観や自然環境が保全、創造される効果であり、市場で扱われていない価値であるため、地域住民等にWTP (Willingness To Pay: 支払意志額) を尋ねることで、その価値を直接的に評価する手法であるCVM (Contingent Valuation Method: 仮想市場法) により効果を算定した。

○対象施設

景観・環境配慮施設

○年効果額算定式

年効果額＝一戸当たりの支払意志額×受益範囲世帯数×{C 1 / (C 1 + C 2) }

ただし、

C 1 : 景観・環境保全施設の資本還元額のうち当該土地改良事業分

C 2 : 景観・環境保全施設の資本還元額のうちその他事業分

○年効果額の算定

土地改良 施設名	CVMによる 効果額 ①	景観・環境 保全施設の 資本還元額 ②＝③＋④	当該土地改良 事業の資本 還元額 ③	その他事業の 資本還元額 ④	当該土地改良 事業における 効果額 ⑤＝①×(③/②)
	千円	千円	千円	千円	千円
支線用水路	48,255	33,466	33,466	－	48,255

H19支出済み費用換算 48,255(千円/年)×1.085＝52,357(千円/年)

m当り単価 52,357(千円/年)÷3,740＝13,999(円/km)

本地区における景観・環境保全効果については平成19年度に算出したm当り単価(効果額)を、支出済み費用換算係数により平成24年度の単価に換算して算出した。

平成19年度km当り単価・・・13,999 円/km×1.054 (H19→H24換算係数)＝14,755 円/km

幹線名	支線名	水路上部整備工延長 (m) ①	単位当たり効果額 (円/km) ②	年効果額 (千円) ③＝①×②	本地区分効果発生割合 ④	本地区分年効果額 (千円) ⑤＝③×④	備考
十郷用水路	十郷1号支線用水路	150	14,755	2,213	0.05	111	
	十郷2号支線用水路	1,000	14,755	14,755	0.05	738	
	十郷3号支線用水路	440	14,755	6,492	0.05	325	
	十郷4号支線用水路	70	14,755	1,033	0.05	52	
	十郷5号支線用水路	1,380	14,755	20,362	0.05	1,018	
	小計	3,040		44,855	0.05	2,243	
春江北部用水路	春江北部1号支線用水路	350	14,755	5,164			
	春江北部2号支線用水路	500	14,755	7,378			
	春江北部3号支線用水路	650	14,755	9,591			
	小計	1,500		22,133			
河合春近用水路	河合春近1号支線用水路	440	14,755	6,492			
	河合春近2号支線用水路	500	14,755	7,378			
	河合春近3号支線用水路	250	14,755	3,689			
	河合春近4号支線用水路	340	14,755	5,017			
	小計	1,530		22,576			
高棕新江用水路	高棕新江支線用水路	250	14,755	3,689			
	小計	250		3,689			
左岸幹線用水路	左岸幹線支線用水路	1,142	14,755	16,850			
	小計	1,142		16,850		－	
芝原用水路	芝原1号支線用水路	230	14,755	3,394			
	芝原2号支線用水路	210	14,755	3,099			
	芝原3号支線用水路	2,380	14,755	35,117			
	芝原4号支線用水路	1,300	14,755	19,182			
	小計	4,120		60,792		－	
計		11,582		148,319		2,243	

※ 本地区分効果額の割合算出

右岸幹線 --- 丸岡受益(232.7ha)/右岸受益(9,126.6ha)＝0.02

(6) 安全性向上効果

○効果の考え方

用水施設の整備を実施した場合に事故発生が軽減される効果。

○対象施設

パイプライン

○年効果額算定式

安全柵の場合

年効果額＝安全柵設置による事故当り損失回避額×延長あたり想定事故数×事業に位置付ける安全施設の整備延長

暗渠化による整備の場合

年効果額＝暗渠化による事故当り損失回避額×延長あたり想定事故数×事業に位置付ける安全施設の整備延長

安全性向上効果の算定（当該事業）

過去の事故数が把握可能な場合

		想定事故件数	事故当り損失回避額 (共通原単位)	年効果額
単 位		[件／年]	[千円／件]	[千円／年]
備 考		①	②	③＝①×②
安全柵	接道あり		60,906	
	接道なし		58,017	
パイプライン	接道あり	0.10000	120,849	12,085
	接道なし		255,114	
合 計				12,085

過去の事故数が把握可能でない場合

(第2表)

		設置延長	延長当り年間事故数 (共通原単位)	想定事故件数
単 位		[Km]	[件／Km]	[件／年]
備 考		①	②	③＝①×②
安全柵	接道あり		0.005520	
	接道なし		0.000415	
パイプライン	接道あり		0.005520	
	接道なし		0.000415	

安全性向上効果の総括

区 分	新設整備		更新整備		計		本 地 区 分 按 分 比 率	計	
	効果額	所得額	効果額	所得額	効果額	所得額		効果額	所得額
安 全 性 国 営 施 設	271,910	—	—	—	271,910	—	0.011	2,991	—
向 上 効 果 本 地 区 施 設	12,085	—	—	—	12,085	—	1.000	12,085	—
安 全 性 向 上 効 果	12,085	—	—	—	12,085	—	1.000	12,085	—
計	283,995	—	—	—	283,995	—		15,076	—

※ 本地区分効果額の割合算出

右岸幹線　――丸岡受益(232.7ha)/右岸受益(9,126.6ha)×右岸延長(7,668.00m)/(国営延長67,938.0m)＝0.002

十郷用水　――丸岡受益(232.7ha)/十郷受益(4,591.8ha)×十郷延長(12,440.00m)/(国営延長67,938.0m)＝0.009

4. 評価に使用した資料

【共通】

- ・農林水産省農村振興局企画部土地改良企画課・事業計画課（監修）（2007）「新たな土地改良の効果算定マニュアル」大成出版社（平成20年3月31日一部改正、平成21年3月31日一部改正）
- ・土地改良事業の費用対効果分析に必要な諸係数について（平成19年3月28日付け農林水産省農村振興局企画部長通知（平成24年4月24日一部改正））

【費用】

- ・費用算定に必要な諸元は、福井県農林水産部農村振興課調べ。国営かんがい排水事業に関することは、北陸農政局九頭竜川下流農業水利事業所聞き取り。

【便益】

- ・北陸農政局福井統計情報事務所（平成18～22年）「福井農林水産統計」
- ・農林水産省経営・構造統計課（平成18～22年）「農業物価統計調査」
- ・福井県（平成21年）「特定高性能農業機械導入計画」
- ・便益算定に必要な各種諸元は、福井県農林水産部農村振興課調べ
 - 坂井市役所（平成23年）「作付台帳」
 - 福井県農林水産部農村振興課調べ「作物単価（水稻・大麦・大豆・そば）」
 - 福井県農林水産部農村振興課調べ（平成21～23年）「土地改良事業諸元調査報告書」
 - 丸岡町土地改良区聞き取り「既往施設年経費について」
 - 丸岡町土地改良区聞き取り「消流雪用水機能の発現路線について」
 - 北陸農政局九頭竜川下流農業水利事業所独自調査資料
 - 土地改良事業専門技術者の審査報告書

平成25年度新規地区採択チェックリスト

(農業競争力強化基盤整備事業(農業水利施設保全合理化事業))

(都道府県名：滋賀県)(地区名：近江八幡東部)

1. 必須事項

項 目	評 価 の 内 容	判定
1. 事業の必要性が明確であること。 (必要性)	・ 農業生産性の向上、農業総生産の維持・増大、農業生産の選択的拡大、農業構造の改善等の観点から、当該事業を必要とすること。	☐
2. 技術的可能性が確実であること。	・ 地形、地質、水利状況等からみて、当該事業の施行が技術的に可能であること。	☐
3. 事業の効率性が十分見込まれること。 (効率性)	・ 当該事業の効用の発現が十分見込まれ、すべての効用がそのすべての費用を償うこと。	☐
4. 受益者負担の可能性が十分であること。 (公平性)	・ 当該事業の費用に係る受益農家の負担が、農家経営の状況からみて、負担能力の限度を超えることとならないこと。	☐
5. 環境との調和に配慮していること。	・ 当該事業が環境との調和に配慮したものであること。	☐
6. 事業の採択要件を満たしていること。	・ 事業実施要綱・要領に規定された事業内容、採択基準の要件に適合していること。	☐

項目を満たしている場合は「○」とする。

項目欄の()には、主として考えられる観点を記述している。

平成 25 年度新規地区採択チェックリスト

(農業競争力強化基盤整備事業 (農業水利施設保全合理化事業))

(都道府県名：滋賀県) (地区名：近江八幡東部)

2. 優先配慮事項

【効率性・有効性】

評価項目			評価指標	単位	評価結果	評価
大項目	中項目	小項目				
効率性	事業の経済性・効率性		①事業費の経済性・効率性の確保 ②コスト縮減についての具体的配慮	—	○ —	B
有効性	食料の安定供給の確保	農業生産性の維持・向上	土地生産性及び労働生産性の維持・向上効果額 (受益面積当たり)	千円/ha・年	318	A
		野菜・果樹の産地形成	野菜指定産地・果樹濃密生産団地の指定作物の計画作付面積割合 (受益面積当たり)	%	—	—
	農業の持続的発展	望ましい農業構造の確立	認定農業者の割合 (総農家当たり)	%	10.1	A
		農地の確保・有効利用	耕地利用率、作付面積増加率	%	① 124	A
		農業生産基盤の保全管理	施設の更新等整備の緊急性	—	A	A
			戦略的な保全管理に向けた更新整備計画の作成	—	① ②	A
	農村の振興	地域経済への波及効果	他産業への経済波及効果額 (受益面積当たり)	千円/ha・年	—	—
		地域用水機能の維持・増進、水資源の有効活用 (快適性の向上)	地域用水効果額 (受益面積当たり)	千円/ha・年	—	—
	多面的機能の発揮	環境機能の維持・増進	環境関連効果額 (受益面積当たり)	千円/ha・年	—	—

【事業の実施環境等】

評価項目			評価指標	単位	評価結果	評価
大項目	中項目	小項目				
事業の実施環境等	環境への配慮	生態系	①地域や事業の特性を考慮した調査・検討 ②環境情報協議会の意見を踏まえた生態系配慮 ③地域住民の参加や地域住民との合意形成への取組 ④維持管理、費用負担及びモニタリング体制等の調整状況	—	a a — —	A
		景観	①地域や事業の特性を考慮した調査・検討 ②環境情報協議会の意見を踏まえた景観配慮 ③地域住民の参加や地域住民との合意形成への取組 ④維持管理、費用負担及びモニタリング体制等の調整状況	—	a a — —	A
	関係計画との連携		①都道府県や市町村の農業振興計画と本事業との整合性 ②高生産性優良農業地域対策に基づく広域農業農村整備促進計画との整合性 ③人・農地プランとの整合	—	a a b	A
	関係機関との協議		①河川管理者との協議(予備)の状況 ②その他着工前に重要な協議(予備)の状況	—	— a	A
	地元合意		①事業実施に対する受益農家の同意状況 ②事業実施に対する関係市町村の同意状況	—	a b	B
	事業推進体制		①事業推進協議会の設立 ②事業推進協議会から着工要望の提出	—	a a	A
	維持管理体制		①予定管理者の合意 ②維持管理方法と費用負担に関する予定管理者との合意	—	a a	A
	営農支援体制		営農推進組織等(営農支援体制)の設立状況	—	—	—
	緊急性		国営事業等関連する他の公共事業との関係で緊急性が高い	—	—	—

費用対効果分析に関する説明資料

事業名	農業水利施設保全合理化事業	地区名	おうみはちまんとうぶ 近江八幡東部
-----	---------------	-----	----------------------

1. 総費用総便益比の算定

(単位：千円)

区分	算定式	数値	備考
総費用（現在価値化）	①＝②＋③	7,739,065	
当該事業による費用	②	1,214,681	
その他費用	③	6,524,384	関連事業費＋資産価額＋再整備費
評価期間	④	46	当該事業の工事期間＋40年
総便益額（現在価値化）	⑤	7,913,671	
総費用総便益比	⑥＝⑤÷①	1.02	

2. 年効果額の総括

(単位：千円)

効果項目	年効果額	効果の要因
作物生産効果	462,272	農業用排水施設整備を実施した場合と実施しなかった場合での農産物生産量が増減する効果
営農経費節減効果	△19,879	農業用排水施設整備を実施した場合と実施しなかった場合での営農経費が増減する効果
維持管理費節減効果	△63,277	農業用排水施設整備を実施した場合と実施しなかった場合での維持管理費が増減する効果
計	379,116	

出典：近江八幡東部地区土地改良事業計画書（滋賀県耕地課作成）

近江八幡東部地区の事業の効用に関する説明資料

1. 地区の概要

- (1) 地 域 : 滋賀県近江八幡市
- (2) 受 益 面 積 : 1,192 ha
- (3) 事 業 目 的 : 用水改良 1,192ha
- (4) 主要工事計画 : 用水機場 1箇所 (改修)
水管理施設 一式 (改修)
- (5) 県 営 事 業 費 : 1,479 百万円
- (6) 工 期 : 平成25年度～平成30年度

2. 総費用総便益比の算定

(1) 総費用総便益比の総括

(単位：千円)

区 分	算定式	数 値
総費用（現在価値化）	①＝②＋③	7,739,065
当該事業による整備費用	②	1,214,681
その他費用（関連事業費＋資産価額＋再整備費）	③	6,524,384
評価期間（当該事業の工事期間＋40年）	④	46年
総便益額（現在価値化）	⑤	7,913,671
総費用総便益比	⑥＝⑤÷①	1.02

(2) 総費用の総括

(単位：千円)

区分	施設名 (又は工種)	事業着工時点 の資産価額 ①	当該事業費 ②	関連事業費 ③	評価期間に おける再整備費 ④	評価期間終了 時点の資産価額 ⑤	総費用 ⑥＝①＋②＋③ ＋④－⑤
当 該 事 業	用水機場	23,064	601,575		377,477	122,238	879,878
	水管理施設	69,719	613,106		486,449	39,370	1,129,904
	幹線送水路	2,662,770			977,896	101,004	3,539,663
	末端用水路	1,460,309			785,634	56,323	2,189,620
	計	4,215,862	1,214,681		2,627,456	318,935	7,739,065
そ の 他							
	計						
合 計		4,215,862	1,214,681		2,627,456	318,935	7,739,065

(3) 年総効果額の総括

(単位：千円)

効果項目	区 分	年総効果 (便益)額	効 果 の 要 因
食料の安定供給の確保に関する効果			
作 物 生 産 効 果		462,272	農業用排水施設整備を実施した場合と実施しなかった場合での農産物生産量が増減する効果
営 農 経 費 節 減 効 果		△19,879	農業用排水施設整備を実施した場合と実施しなかった場合での営農経費が増減する効果
維 持 管 理 費 節 減 効 果		△63,277	農業用排水施設整備を実施した場合と実施しなかった場合での施設の維持管理費が増減する効果
合 計		379,116	

(4) 総便益額算出表－1

(単位：千円、%)

評価 期間	年度	割引 率(1 +割引 率)	経 過 年	作物生産効果						備考
				更新分に 係る効果	新設及び機能向上分 に係る効果			計		
					年効果額	年効果額	効果発 生割合	年発生 効果額	年効果額	
		①		②	③	④	⑤=③×④	⑥=②+⑤	⑦=⑥/①	
	H24	1.0000	0					0	0	評価年
1	H25	1.0400	1	462,272				462,272	444,492	
2	H26	1.0816	2	462,272				462,272	427,396	
3	H27	1.1249	3	462,272				462,272	410,945	
4	H28	1.1699	4	462,272				462,272	395,138	
5	H29	1.2167	5	462,272				462,272	379,939	
6	H30	1.2653	6	462,272				462,272	365,346	
7	H31	1.3159	7	462,272				462,272	351,297	
8	H32	1.3686	8	462,272				462,272	337,770	
9	H33	1.4233	9	462,272				462,272	324,789	
10	H34	1.4802	10	462,272				462,272	312,304	
11	H35	1.5395	11	462,272				462,272	300,274	
12	H36	1.6010	12	462,272				462,272	288,740	
13	H37	1.6651	13	462,272				462,272	277,624	
14	H38	1.7317	14	462,272				462,272	266,947	
15	H39	1.8009	15	462,272				462,272	256,689	
16	H40	1.8730	16	462,272				462,272	246,808	
17	H41	1.9479	17	462,272				462,272	237,318	
18	H42	2.0258	18	462,272				462,272	228,192	
19	H43	2.1068	19	462,272				462,272	219,419	
20	H44	2.1911	20	462,272				462,272	210,977	
21	H45	2.2788	21	462,272				462,272	202,858	
22	H46	2.3699	22	462,272				462,272	195,060	
23	H47	2.4647	23	462,272				462,272	187,557	
24	H48	2.5633	24	462,272				462,272	180,343	
25	H49	2.6658	25	462,272				462,272	173,408	
26	H50	2.7725	26	462,272				462,272	166,735	
27	H51	2.8834	27	462,272				462,272	160,322	
28	H52	2.9987	28	462,272				462,272	154,157	
29	H53	3.1187	29	462,272				462,272	148,226	
30	H54	3.2434	30	462,272				462,272	142,527	
31	H55	3.3731	31	462,272				462,272	137,047	
32	H56	3.5081	32	462,272				462,272	131,773	
33	H57	3.6484	33	462,272				462,272	126,705	
34	H58	3.7943	34	462,272				462,272	121,833	
35	H59	3.9461	35	462,272				462,272	117,147	
36	H60	4.1039	36	462,272				462,272	112,642	
37	H61	4.2681	37	462,272				462,272	108,309	
38	H62	4.4388	38	462,272				462,272	104,143	
39	H63	4.6164	39	462,272				462,272	100,137	
40	H64	4.8010	40	462,272				462,272	96,287	
41	H65	4.9931	41	462,272				462,272	92,582	
42	H66	5.1928	42	462,272				462,272	89,022	
43	H67	5.4005	43	462,272				462,272	85,598	
44	H68	5.6165	44	462,272				462,272	82,306	
45	H69	5.8412	45	462,272				462,272	79,140	
46	H70	6.0748	46	462,272				462,272	76,097	
合計（総便益額）									9,654,365	

※経過年は評価年からの年数

(4) 総便益額算出表-2

(単位:千円、%)

評価 期間	年度	割引率 (1 + 割引 率)	経過 年	宮農経費節減効果						備考
				更新分に 係る効果	新設及び機能向上分 に係る効果			計		
					年効果額	年効果額	効果発 生割合	年発生 効果額	年効果額	
		①		②	③	④	⑤=③×④	⑥=②+⑤	⑦=⑥/①	
	H 24	1.0000	0							評価年
1	H 25	1.0400	1	△ 19,879				△ 19,879	△ 19,114	
2	H 26	1.0816	2	△ 19,879				△ 19,879	△ 18,379	
3	H 27	1.1249	3	△ 19,879				△ 19,879	△ 17,672	
4	H 28	1.1699	4	△ 19,879				△ 19,879	△ 16,992	
5	H 29	1.2167	5	△ 19,879				△ 19,879	△ 16,338	
6	H 30	1.2653	6	△ 19,879				△ 19,879	△ 15,711	
7	H 31	1.3159	7	△ 19,879				△ 19,879	△ 15,107	
8	H 32	1.3686	8	△ 19,879				△ 19,879	△ 14,525	
9	H 33	1.4233	9	△ 19,879				△ 19,879	△ 13,967	
10	H 34	1.4802	10	△ 19,879				△ 19,879	△ 13,430	
11	H 35	1.5395	11	△ 19,879				△ 19,879	△ 12,913	
12	H 36	1.6010	12	△ 19,879				△ 19,879	△ 12,417	
13	H 37	1.6651	13	△ 19,879				△ 19,879	△ 11,939	
14	H 38	1.7317	14	△ 19,879				△ 19,879	△ 11,479	
15	H 39	1.8009	15	△ 19,879				△ 19,879	△ 11,038	
16	H 40	1.8730	16	△ 19,879				△ 19,879	△ 10,613	
17	H 41	1.9479	17	△ 19,879				△ 19,879	△ 10,205	
18	H 42	2.0258	18	△ 19,879				△ 19,879	△ 9,813	
19	H 43	2.1068	19	△ 19,879				△ 19,879	△ 9,436	
20	H 44	2.1911	20	△ 19,879				△ 19,879	△ 9,073	
21	H 45	2.2788	21	△ 19,879				△ 19,879	△ 8,723	
22	H 46	2.3699	22	△ 19,879				△ 19,879	△ 8,388	
23	H 47	2.4647	23	△ 19,879				△ 19,879	△ 8,065	
24	H 48	2.5633	24	△ 19,879				△ 19,879	△ 7,755	
25	H 49	2.6658	25	△ 19,879				△ 19,879	△ 7,457	
26	H 50	2.7725	26	△ 19,879				△ 19,879	△ 7,170	
27	H 51	2.8834	27	△ 19,879				△ 19,879	△ 6,894	
28	H 52	2.9987	28	△ 19,879				△ 19,879	△ 6,629	
29	H 53	3.1187	29	△ 19,879				△ 19,879	△ 6,374	
30	H 54	3.2434	30	△ 19,879				△ 19,879	△ 6,129	
31	H 55	3.3731	31	△ 19,879				△ 19,879	△ 5,893	
32	H 56	3.5081	32	△ 19,879				△ 19,879	△ 5,667	
33	H 57	3.6484	33	△ 19,879				△ 19,879	△ 5,449	
34	H 58	3.7943	34	△ 19,879				△ 19,879	△ 5,239	
35	H 59	3.9461	35	△ 19,879				△ 19,879	△ 5,038	
36	H 60	4.1039	36	△ 19,879				△ 19,879	△ 4,844	
37	H 61	4.2681	37	△ 19,879				△ 19,879	△ 4,658	
38	H 62	4.4388	38	△ 19,879				△ 19,879	△ 4,478	
39	H 63	4.6164	39	△ 19,879				△ 19,879	△ 4,306	
40	H 64	4.8010	40	△ 19,879				△ 19,879	△ 4,141	
41	H 65	4.9931	41	△ 19,879				△ 19,879	△ 3,981	
42	H 66	5.1928	42	△ 19,879				△ 19,879	△ 3,828	
43	H 67	5.4005	43	△ 19,879				△ 19,879	△ 3,681	
44	H 68	5.6165	44	△ 19,879				△ 19,879	△ 3,539	
45	H 69	5.8412	45	△ 19,879				△ 19,879	△ 3,403	
46	H 70	6.0748	46	△ 19,879				△ 19,879	△ 3,272	
合計 (総便益額)									△ 415,162	

※経過年は評価年からの年数

(4) 総便益額算出表-3

(単位：千円、%)

評価 期間	年度	割引率 (1 + 割引 率)	経過 年	維持管理費節減効果						備考	
				更新分に 係る効果	新設及び機能向上分 に係る効果			計			
					年効果額	年効果額	効果発 生割合	年発生 効果額	年効果額		同 左 割引後
①	②	③	④	⑤=③×④	⑥=②+⑤	⑦=⑥/①					
	H 24	1.0000	0	△ 64,532						評価年	
1	H 25	1.0400	1	△ 64,532	1,255	0	0	△ 64,532	△ 62,050		
2	H 26	1.0816	2	△ 64,532	1,255	0	0	△ 64,532	△ 59,663		
3	H 27	1.1249	3	△ 64,532	1,255	0	0	△ 64,532	△ 57,367		
4	H 28	1.1699	4	△ 64,532	1,255	50	628	△ 63,905	△ 54,624		
5	H 29	1.2167	5	△ 64,532	1,255	100	1,255	△ 63,277	△ 52,007		
6	H 30	1.2653	6	△ 64,532	1,255	100	1,255	△ 63,277	△ 50,009		
7	H 31	1.3159	7	△ 64,532	1,255	100	1,255	△ 63,277	△ 48,086		
8	H 32	1.3686	8	△ 64,532	1,255	100	1,255	△ 63,277	△ 46,235		
9	H 33	1.4233	9	△ 64,532	1,255	100	1,255	△ 63,277	△ 44,458		
10	H 34	1.4802	10	△ 64,532	1,255	100	1,255	△ 63,277	△ 42,749		
11	H 35	1.5395	11	△ 64,532	1,255	100	1,255	△ 63,277	△ 41,102		
12	H 36	1.6010	12	△ 64,532	1,255	100	1,255	△ 63,277	△ 39,523		
13	H 37	1.6651	13	△ 64,532	1,255	100	1,255	△ 63,277	△ 38,002		
14	H 38	1.7317	14	△ 64,532	1,255	100	1,255	△ 63,277	△ 36,540		
15	H 39	1.8009	15	△ 64,532	1,255	100	1,255	△ 63,277	△ 35,136		
16	H 40	1.8730	16	△ 64,532	1,255	100	1,255	△ 63,277	△ 33,784		
17	H 41	1.9479	17	△ 64,532	1,255	100	1,255	△ 63,277	△ 32,485		
18	H 42	2.0258	18	△ 64,532	1,255	100	1,255	△ 63,277	△ 31,236		
19	H 43	2.1068	19	△ 64,532	1,255	100	1,255	△ 63,277	△ 30,035		
20	H 44	2.1911	20	△ 64,532	1,255	100	1,255	△ 63,277	△ 28,879		
21	H 45	2.2788	21	△ 64,532	1,255	100	1,255	△ 63,277	△ 27,768		
22	H 46	2.3699	22	△ 64,532	1,255	100	1,255	△ 63,277	△ 26,700		
23	H 47	2.4647	23	△ 64,532	1,255	100	1,255	△ 63,277	△ 25,673		
24	H 48	2.5633	24	△ 64,532	1,255	100	1,255	△ 63,277	△ 24,686		
25	H 49	2.6658	25	△ 64,532	1,255	100	1,255	△ 63,277	△ 23,737		
26	H 50	2.7725	26	△ 64,532	1,255	100	1,255	△ 63,277	△ 22,823		
27	H 51	2.8834	27	△ 64,532	1,255	100	1,255	△ 63,277	△ 21,945		
28	H 52	2.9987	28	△ 64,532	1,255	100	1,255	△ 63,277	△ 21,101		
29	H 53	3.1187	29	△ 64,532	1,255	100	1,255	△ 63,277	△ 20,290		
30	H 54	3.2434	30	△ 64,532	1,255	100	1,255	△ 63,277	△ 19,509		
31	H 55	3.3731	31	△ 64,532	1,255	100	1,255	△ 63,277	△ 18,759		
32	H 56	3.5081	32	△ 64,532	1,255	100	1,255	△ 63,277	△ 18,037		
33	H 57	3.6484	33	△ 64,532	1,255	100	1,255	△ 63,277	△ 17,344		
34	H 58	3.7943	34	△ 64,532	1,255	100	1,255	△ 63,277	△ 16,677		
35	H 59	3.9461	35	△ 64,532	1,255	100	1,255	△ 63,277	△ 16,035		
36	H 60	4.1039	36	△ 64,532	1,255	100	1,255	△ 63,277	△ 15,419		
37	H 61	4.2681	37	△ 64,532	1,255	100	1,255	△ 63,277	△ 14,826		
38	H 62	4.4388	38	△ 64,532	1,255	100	1,255	△ 63,277	△ 14,255		
39	H 63	4.6164	39	△ 64,532	1,255	100	1,255	△ 63,277	△ 13,707		
40	H 64	4.8010	40	△ 64,532	1,255	100	1,255	△ 63,277	△ 13,180		
41	H 65	4.9931	41	△ 64,532	1,255	100	1,255	△ 63,277	△ 12,673		
42	H 66	5.1928	42	△ 64,532	1,255	100	1,255	△ 63,277	△ 12,186		
43	H 67	5.4005	43	△ 64,532	1,255	100	1,255	△ 63,277	△ 11,717		
44	H 68	5.6165	44	△ 64,532	1,255	100	1,255	△ 63,277	△ 11,266		
45	H 69	5.8412	45	△ 64,532	1,255	100	1,255	△ 63,277	△ 10,833		
46	H 70	6.0748	46	△ 64,532	1,255	100	1,255	△ 63,277	△ 10,416		
合計（総便益額）									△ 1,325,532		

※経過年は評価年からの年数

(4) 総便益額算出表-4

(単位：千円、%)

評価期間	年度	割引率 (1 + 割引率)	経過年	合計						備考
				更新分に 係る効果	新設及び機能向上分 に係る効果			計		
					年効果額	年効果額	効果発生割合	年発生効果額	年効果額	
		①		②	③	④	⑤=③×④	⑥=② + ⑤	⑦=⑥/①	
	H 24	1.0000	0				0	0	0	評価年
1	H 25	1.0400	1	377,861				377,861	363,328	
2	H 26	1.0816	2	377,861				377,861	349,354	
3	H 27	1.1249	3	377,861				377,861	335,906	
4	H 28	1.1699	4	377,861				378,489	323,522	
5	H 29	1.2167	5	377,861				379,116	311,594	
6	H 30	1.2653	6	377,861				379,116	299,626	
7	H 31	1.3159	7	377,861				379,116	288,104	
8	H 32	1.3686	8	377,861				379,116	277,010	
9	H 33	1.4233	9	377,861				379,116	266,364	
10	H 34	1.4802	10	377,861				379,116	256,125	
11	H 35	1.5395	11	377,861				379,116	246,259	
12	H 36	1.6010	12	377,861				379,116	236,800	
13	H 37	1.6651	13	377,861				379,116	227,683	
14	H 38	1.7317	14	377,861				379,116	218,928	
15	H 39	1.8009	15	377,861				379,116	210,515	
16	H 40	1.8730	16	377,861				379,116	202,411	
17	H 41	1.9479	17	377,861				379,116	194,628	
18	H 42	2.0258	18	377,861				379,116	187,143	
19	H 43	2.1068	19	377,861				379,116	179,948	
20	H 44	2.1911	20	377,861				379,116	173,025	
21	H 45	2.2788	21	377,861				379,116	166,367	
22	H 46	2.3699	22	377,861				379,116	159,972	
23	H 47	2.4647	23	377,861				379,116	153,819	
24	H 48	2.5633	24	377,861				379,116	147,902	
25	H 49	2.6658	25	377,861				379,116	142,214	
26	H 50	2.7725	26	377,861				379,116	136,742	
27	H 51	2.8834	27	377,861				379,116	131,483	
28	H 52	2.9987	28	377,861				379,116	126,427	
29	H 53	3.1187	29	377,861				379,116	121,562	
30	H 54	3.2434	30	377,861				379,116	116,889	
31	H 55	3.3731	31	377,861				379,116	112,395	
32	H 56	3.5081	32	377,861				379,116	108,069	
33	H 57	3.6484	33	377,861				379,116	103,912	
34	H 58	3.7943	34	377,861				379,116	99,917	
35	H 59	3.9461	35	377,861				379,116	96,074	
36	H 60	4.1039	36	377,861				379,116	92,379	
37	H 61	4.2681	37	377,861				379,116	88,825	
38	H 62	4.4388	38	377,861				379,116	85,410	
39	H 63	4.6164	39	377,861				379,116	82,124	
40	H 64	4.8010	40	377,861				379,116	78,966	
41	H 65	4.9931	41	377,861				379,116	75,928	
42	H 66	5.1928	42	377,861				379,116	73,008	
43	H 67	5.4005	43	377,861				379,116	70,200	
44	H 68	5.6165	44	377,861				379,116	67,501	
45	H 69	5.8412	45	377,861				379,116	64,904	
46	H 70	6.0748	46	377,861				379,116	62,409	
合計（総便益額）									7,913,671	

※経過年は評価年からの年数

3. 効果額の算定方法

(1) 作物生産効果

○効果の考え方

事業を実施した場合（事業ありせば）と実施しなかった場合（事業なかりせば）の作物生産量の比較により年効果額を算定した。

○対象作物

水稻、小麦、大豆、かぶ、たまねぎ、なす、スイカ

○年効果額算定式

年効果額＝単収増加年効果額※¹

※1 単収増加年効果額＝作付面積×（事業ありせば単収－事業なかりせば単収）×単価×単収増加の純益率

○年効果額の算定

作物名	新設・更新	作付面積			効果要因	単 収			生産増減量 ③＝ ①×② ÷100	生産物 単価 ④	増加粗 収益 ⑤＝ ③×④	純 益 率 ⑥	年効果額 ⑦＝ ⑤×⑥
		現況	計画	効果 発生 面積 ①		事業 なかりせば 単収	事業 ありせば 単収	効果算定 対象 単収 ②					
		ha	ha	ha		kg/10a	kg/10a	kg/10a	t	千円/t	千円	%	千円
水稻	更新	805.0	805.0	805.0	水管理改良	229	546	317	2,551.90	224	571,626	74	423,003
小麦	更新	280.0	280.0	280.0		293	293			119		72	
大豆	更新	262.0	262.0	262.0	湿潤かんがい	159	172	13	34.10	235	8,014	68	5,450
かぶ	更新	64.0	64.0	64.0	湿潤かんがい	2,701	3,106	405	259.20	125	32,400	78	25,272
たまねぎ	更新	14.0	14.0	14.0	湿潤かんがい	3,339	3,840	501	70.10	61	4,276	73	3,121
なす	更新	15.0	15.0	15.0	湿潤かんがい	1,238	1,424	186	27.90	224	6,250	72	4,500
スイカ	更新	8	8	8	湿潤かんがい	1,118	1,286	168	13.40	91	1,219	76	926
合計	更新	1,448	1,448								623,785		462,272

事業を実施した場合、既存の施設が更新されることに伴う生産維持に係る作物生産量の増減効果を見込むものとした。

【更新】

- ・作付面積 : 現況施設のもとで作物生産量が維持される面積であり、「現況作付面積」は関係市町村の作付実績に基づき決定し、「計画作付面積」は現況＝計画とした。
- ・単収 : 「事業なかりせば単収」は用排水機能の喪失時の単収であり、現況単収に効果要因別の失われる増収率分を減じて算定した。
「事業ありせば単収」は現況単収であり、農林水産統計等による5ヶ年の平均単収により算定した。
「効果算定対象単収」は事業ありせば単収と事業なかりせば単収の差である。
- ・生産物単価 : 農作物価統計による5ヶ年の販売価格に消費者物価指数を反映した価格またはJA聞き取り価格を用いた。
- ・純益率 : 「土地改良事業の費用対効果分析に必要な諸係数について」による標準値等を用いた。

(2) 営農経費節減効果

○効果の考え方

事業を実施した場合（事業ありせば）と実施しなかった場合（事業なかりせば）の用水管理の労働費について比較し、それらの営農経費の増減により年効果額を算定した。

○対象作物

水稻、大豆、かぶ、たまねぎ、なす、スイカ

○年効果額算定式

年効果額 = (事業なかりせば単位面積当り営農経費 - 事業ありせば単位面積当り営農経費) × 効果発生面積

○年効果額の算定

用水改良：用水管理作業に要する経費の増減

○年効果額の算定

作物名	ha当たり営農経費				ha当たり 経費 ⑤=(①-②) + (③-④)	効果発生面積 ⑥	年効果額 ⑦=⑤×⑥
	新設		更新				
	現況 〈事業なかりせば〉 ①	計画 〈事業ありせば〉 ②	事業なかりせば 営農経費 ③	事業ありせば 営農経費 ④			
	円	円	円	円	円	ha	千円
水 稲 〈用水管理〉			0	18,673	△ 18,673	805	△ 15,032
大 豆 〈用水管理〉			0	7,469	△ 7,469	262	△ 1,957
か ぶ 〈用水管理〉			0	42,680	△ 42,680	64	△ 2,732
たまねぎ 〈用水管理〉			0	4,268	△ 4,268	14	△ 60
なす 〈用水管理〉			0	4,268	△ 4,268	15	△ 64
スイカ 〈用水管理〉			0	4,268	△ 4,268	8	△ 34
計							△ 19,878

【更新】

- ・事業なかりせば営農経費(③): 用水施設の機能が喪失したことを想定し、用水管理の営農経費を算定した。
- ・事業ありせば営農経費(④): 現在の機能を維持するための現況営農経費であり、滋賀県の指標等を基に算定した。

(3) 維持管理費節減効果

○効果の考え方

事業を実施した場合（事業ありせば）と実施しなかった場合（事業なかりせば）を比較し、施設の維持管理費の増減をもって年効果額を算定した。

○対象施設

用水路、用水機場、水管理施設等

○年効果額算定式

年効果額 = 事業なかりせば維持管理費 - 事業ありせば維持管理費

○年効果額の算定

事業なかりせば維持管理費 ①	事業ありせば維持管理費 ②	年効果額 ③=①-②	備 考
千円 8,450	千円 71,727	千円 △63,277	現況維持管理費 72,982千円

- ・事業なかりせば維持管理費（①）：施設の実績維持管理費を基に、施設の機能を失った場合において安全管理等に最低限必要な維持管理費を算定した。
- ・事業ありせば維持管理費（②）：効果算定対象施設の実績維持管理費を基に算定した。

4. 評価に使用した資料

【共通】

- ・農林水産省農村振興局企画部土地改良企画課・事業計画課（監修）（2007）「新たな土地改良の効果算定マニュアル」大成出版社（平成20年3月31日一部改正、平成21年3月31日一部改正）
- ・土地改良事業の費用対効果分析に必要な諸係数について（平成19年3月28日付け農林水産省農村振興局企画部長通知（平成24年4月28日一部改正））
- ・土地改良事業の費用対効果分析に必要な諸係数等について（平成24年4月24日付け農村振興局整備部長 事務連絡）

【費用】

- ・当該事業費等に係る一般に公表されていない諸元については、滋賀県農政水産部耕地課調べ

【便益】

- ・近畿農政局滋賀農政事務所（平成18～22年）「農作物統計」
- ・総便益算定に係る一般に公表されていない諸元については、滋賀県農政水産部耕地課調べ